

# 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	介護予防サービス提供事業	所管	保健福祉部 成人保健課
			Tel 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	高齢者ができる限り介護を必要とする状態に陥ることなく、健康で生き生きとした生活が過ごせるような支援を実施する。
------------------------	---------------------------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	主に65歳以上の高齢者	対象とした数	61,865	人
		実際に 利用した数	1,437	人

活動の内容 (何を したか)	1、機能訓練事業 ①地域リハビリ交流会 脳卒中等による障害のため、社会での活動が難しく孤立しがちな市民に活動の場を提供し、閉じこもりを防ぎ、生きがいのある生活が過ごせるよう指導、援助する。市内4ヶ所の公民館を会場として月に1回実施している。②脳卒中等の後遺症による失語症者に対して、身体面、精神面の回復、維持を支援するとともに、家族や地域の市民に、失語症の知識と理解を深めてもらうことを目的に、月に一度、保健センターで実施している。 2、高齢者健康食教育等 市内の各施設からの依頼を受けて、高齢者向けの料理教室や介護食に関する講座をはじめ、あらゆる機会を通じて健康教育を展開している。 3、健康相談 保健センター、公民館、老人福祉施設等を会場に、心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導助言を行っている。 4、訪問指導 家庭において寝たきり、若しくはこれに準ずる状態にある方、認知症高齢者に対して、必要な保健指導を行う。								
	活動実績	項目名	機能訓練 地域リハビリ交流会	683 ----- 単位 人	項目名	機能訓練 失語症のつどい	124 ----- 単位 人	項目名	高齢者栄養教室等

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	8,900	7,155	22,561	66.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	高齢者栄養教室等への参加者増加率	当該年度延べ参加者数(計) ÷ 前年度延べ参加者数(計)	105 ----- 単位 %	91.7 ----- 単位 %	87.3 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了			
予算	現状どおり 増額 減額 終了					

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040900	TEL	2991-1811
事業コード	介護予防サービス提供事業					
040901						
開始年度		平成 18 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加		根拠法令					
	分野別計画・指針	高齢者保健福祉計画		介護保険法					
	関連・類似事業	機能訓練、訪問指導事業、健康相談事業、健康教育事業							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	5節 社会保障	中柱	4 介護保険制度の充実	小柱	(2) 介護サービスの充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 3 位		・実施計画における位置づけ…   H19 ***   H20 ***					
行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード	1321	窓口満足度の向上	コード	3261	事務事業見直しの推進
事業開始の背景	介護保険法の改正に伴い、65歳以上の高齢者を対象に、従来、老人保健事業として実施してきた健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導の4事業については、平成18年度から地域支援事業の介護予防事業に位置付けて実施していくことになる。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	高齢者ができる限り介護を必要とする状態に陥ることなく、健康で生き生きとした生活が過ごせるような支援を実施する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	主に65歳以上の高齢者					高齢者のための健康食教育や機能訓練事業への参加者				
	対象数	単位	平成 18 年度	58,432	人	利用数	単位	平成 18 年度	1,567	人
		平成 19 年度	61,865	人			平成 19 年度	1,437	人	
事業の具体的な内容及び実施方法 1、機能訓練事業 ①地域リハビリ交流会 脳卒中中等による障害のため、社会での活動が難しく孤立しがちな市民に活動の場を提供し、閉じこもりを防止、生きがいのある生活が過ごせるよう指導、援助する。市内4ヶ所の公民館を会場として月に1回実施している。②脳卒中等の後遺症による失語症者に対して、身体面、精神面の回復、維持を支援するとともに、家族や地域の市民に、失語症の知識と理解を深めてもらうことを目的に、月に一度、保健センターで実施している。2、高齢者健康食教育等 市内の各施設からの依頼を受けて、高齢者向けの料理教室や介護食に関する講座をはじめ、あらゆる機会を通じて健康教育を展開している。3、健康相談 保健センター、公民館、老人福祉施設等を会場に、心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導助言を行っている。4、訪問指導 家庭において寝たきり、若しくはこれに準ずる状態にある方、認知症高齢者に対して、必要な保健指導を行う。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )								
		<input type="checkbox"/> 終了 => ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点 高齢者の健康や食に関する意識が高くなり、料理教室の要望が増加したことを受けて、高齢者を対象とした「優しい健康食教室」を開催した。										

⑤経費	《会計種別》	特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		5,100	8,900	10,184	
	決算 (見込み含む)		4,193	7,155		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 1.80 人 ) ( 人 ) ( 1.90 人 )				
	正規職員人件費		2.13 人 19,596	1.64 人 15,406	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	公債費					
	事業費合計		23,789	22,561		
	財源内訳	一般財源		19,596	15,406	10,184
		国・県支出金		4,193	7,155	
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		70.4	66.5			
利用数一単位あたり(単位:円)		15,181.2	15,700.2			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	機能訓練地域リハビリ交流会	延べ参加者数 (本人)	人	719	683		
		機能訓練失語症のつどい	延べ参加者数 (本人)	人	122	124		
		高齢者栄養教室等	延べ参加者数	人	726	630		
	成果分析	高齢者栄養教室等への参加者増加率	当該年度延べ参加者数(計) ÷ 前年度延べ参加者数(計)	%	目標値	—	105	110
			%	実績	—	91.7	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			%	達成率	—	87.3	1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	食の安全性が課題となっている中で、市民の健康や食に関する意識が高くなり、地域の団体や組織からの教育の依頼の要望も増加しており、こうした要望に対して、可能な限り取り組んでいくことが求められている。				
評価理由	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	健康教育、健康相談等の取り組みを通じて介護予防に関する知識の普及・啓発を図る。	市内に居住する市民を対象に、パンフレット等の作成、配布及び講演会、相談会を開催し、普及・啓発に努める。	平成21年3月末	
		介護予防を必要とする方に対し、生きがいのある生活が過ごせるよう身体面、精神面の回復、維持を支援する。	年間を通した円滑な事業の実施を目指す	平成21年3月末	
	平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由 高齢化の進展に伴い、介護予防サービスを必要とする高齢者の増加が見込まれ、今後サービスに対する需要も増大していくことが予想される。こうした中で、介護予防健康教育や健康相談等の取り組みを通じて、介護予防に関する知識の普及・啓発は益々重要となり、今後も引き続き必要な事業である。					
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	成人保健課長 細江 松子		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由 評価日							
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A: 優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B: 重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由 評価日	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C: 現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
	施策の体系				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					